



村 MOBILITY

村タク（むらたく）を通じた交通再編

南山城村総務財政課 主任 関口 翔平



南山城村をご存じでしょうか？

京都駅から車(有料道路)で約 1 時間



京都駅から有料道路利用の際は上鳥羽ICから精華下狛IC、R24を經由し木津川市上狛からR163で伊賀方面へ東進約30分

電車・鉄道利用の場合



京都駅から
JR奈良線→JR大和路線→JR関西本線
近鉄京都線→JR学研都市線→JR関西本線
・大阪から
JR大和路線(快速約1時間) 加茂行乗車→ 関西本線

JR大和路線 加茂駅から

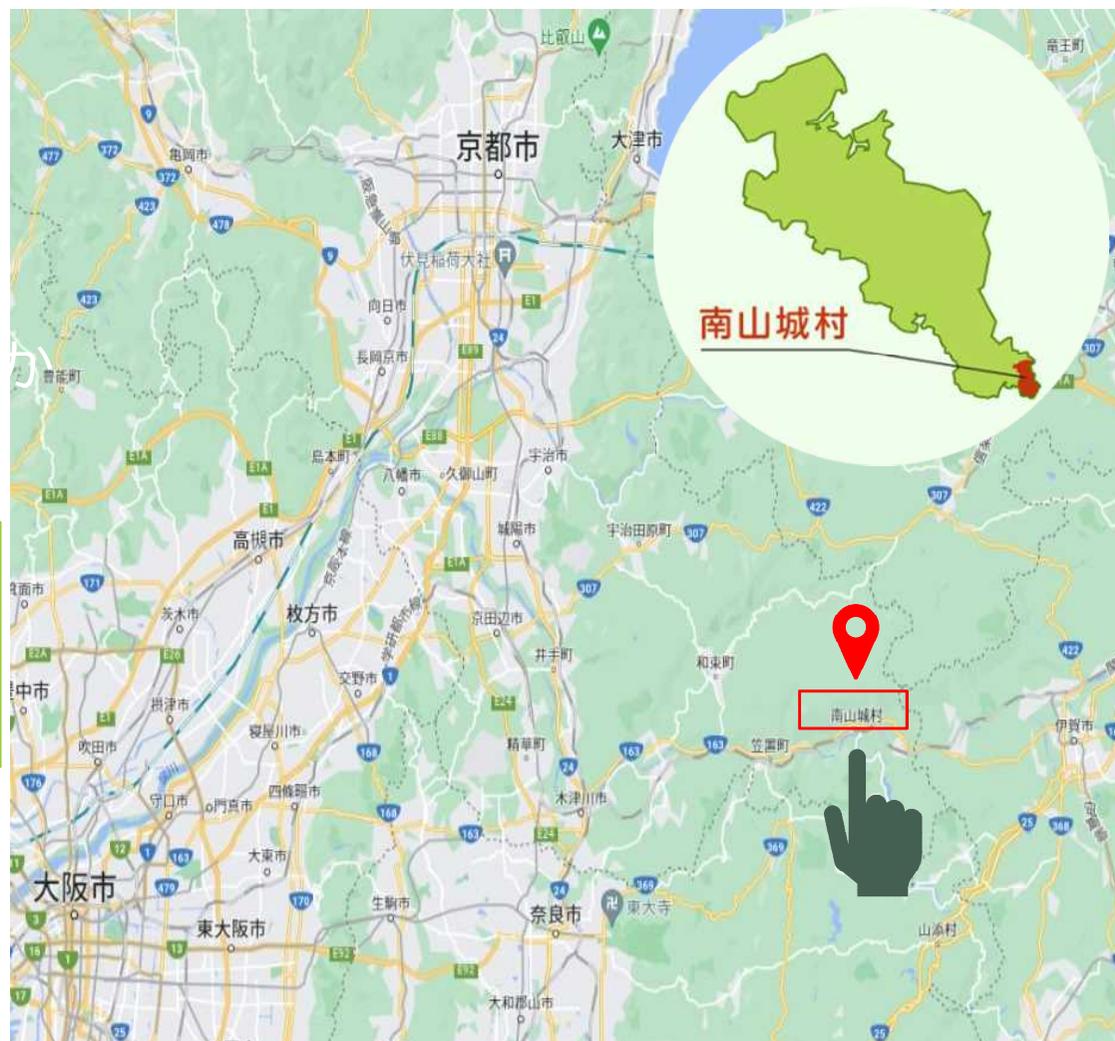


相楽東部広域バス
で約 40 分



**相楽東部
広域バス**

バスの運行情報が
みられます！



大阪・奈良・滋賀・三重方面 どこからでもアクセス可能です。

「京都府唯一の村」 「宇治茶の主産地」



最近では、平成29年にオープンした道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」がメディアにも多く取り上げていただいています。

村長の思いと公約の実現に向けて



南山城村長 平沼和彦

(令和元年6月就任 1期目)

村長就任前は、会社経営のほか、地元商工会長やNPO法人理事長などを歴任し、公共交通に関連する事業についても様々な場面で参画。

就任と同時に公約の「今日の村創り」としてすぐ公共交通再編に着手する。

地域住民の満足度 = 地域の発展

村タクの取り組み経過

R元年

- 国土交通省採択「新モビリティサービス推進事業」
- トヨタ・モビリティ基金採択「地域に合った移動の仕組みづくり助成事業」
- 地域公共交通会議設立
- MaaSアプリによるシームレスな移動の実証実験

R2年

- 地域懇談会、商工業者との意見交換の実施
- 無償による送迎サービスの実証実験、有償による実証実験の実施
- MaaS等の継続的な実験実施

R3年

- 有償運送の実証実験から本格的な運行形態へ
- 運営団体(やまなみ交通運営協議会設立)
- 企業版ふるさと納税によりラッピング車両導入
- 新型コロナウイルスワクチン接種会場への運行による支援
- エリア拡大(木津地域、笠置地域など隣接、生活圏への運行開始)

R4年

- 運行時間の拡大やエリア拡大(村営バス廃止により、早朝より運行開始)



取り組みを行う団体の設立

| | |
|-----------|--|
| 名称 | やまなみ交通運営協議会(会長:南山城村長) |
| 主な構成員 | 南山城村社会福祉協議会、南山城村商工会、NPO法人南山城村むらおこし事業組合、南山城村シルバー人材センター、南山城村役場 |
| 拠点 | JR大河原駅 駅舎(駅舎は村管理) |
| 主な予算 | 運賃収入、村補助金(5,300,000円)等 |
| 職員配置(専従者) | 村会計年度任用職員2名 |
| 運転手 | 構成団体で運転手を構成している。(主にシルバー人材センターから) |
| 車両 | 登録7台(運用4台) ※配車先によって車両を采配 |

現状及び再編にいたるきっかけ①

人口減少、少子高齢化の急速な進展

全国の市区町村1,799で
17番目に消滅する可能性への**危機感**

人口と世帯数



[2022年9月30日現在]

2014年、日本創成会議が全国で17番目、**京都府**で最初に消滅する可能性のある自治体として発表される。

高齢化率50%
超える

| 年齢区分 | 人口 | 割合 |
|--------|-------|--------|
| 15歳未満 | 146 | 5.8% |
| 15～64歳 | 1,114 | 44.15% |
| 65歳以上 | 1,263 | 50.05% |
| 集計 | 2,523 | |

出典：南山城村地区別人口資料より(R4.9.30)

ネガティブ情報への危機感の高まりとリアルな人口減少の加速

現状及び再編にいたるきっかけ②

再編前までは、集落間や駅までを無料で運行するバスのみ

- バス停まで遠い、接続が悪い、人が乗らない…etc
- 地域に合わせた移動の仕組みづくりが急務
- 狭小な道路形状による課題

人口の1/3が住む月ヶ瀬ニュータウンと駅のアクセスが不便

- 月ヶ瀬ニュータウン(S52～)から月ヶ瀬口駅まで平均徒歩15分。アクセス道路は、急勾配で高齢者へ負担となる。
- 道の駅や医院までも徒歩移動が大変

平成29年 道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」が開設

- 鉄道駅に近い道の駅という利点を活かし、観光客は増加。
- 買い物弱者支援、村のシンボルとして観光面で交流人口を増加させる必要があった。



月ヶ瀬ニュータウン



道の駅



再編前の実情

「村営バス」

- ・廃止代替バスとして無償運行
- ・1日21便
- ・毎日運行(年末年始除く)
- ・主に鉄道駅と道の駅とを結ぶ

「コミュニティバス」

- ・山間部と鉄道駅や役場を結ぶ運行
- ・1日5便
- ・主に鉄道駅と道の駅とを結ぶ

「相楽東部広域バス」

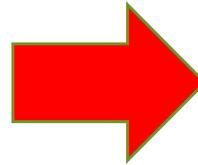
- ・隣接町と共同運行
- ・1日8便
- ・主に鉄道駅と鉄道駅とを結ぶ補完型

「JR関西本線」

- ・上下各24本
- ・非電化路線



再編後の交通事情

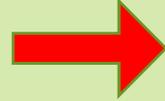


地域課題の解決に向け

京都府交通政策課

南山城村

現状の課題整理と目標を設定し、住民対象の地域懇談会と商工業者や観光事業者を対象とした懇談会を開催



地域での合意形成と協力体制の構築



懇談会参加者数

10地区：82名

相談

アドバイス

計画と実施に向け対話を重視

地域懇談会 6回（住民5・事業者1）
地域公共交通会議 4回
公共交通を考えるシンポジウム1回

京都運輸支局

「ヒト」が交通を変えるカタチへの一歩

地元での取り組み



地域住民・関係者が協議する場の設定

「地域公共交通会議」

行政が主導する仕組みであるが、行政としてでなく地域の多様な団体と協議する場面として設定。一般的な地交会よりも住民参加を多くしている。

「協議会方式」

運営団体には、若者や女性の声を反映し、地域での雇用もつくりながら行う組織形成の実施。

いずれも丁寧に、1つずつ課題や不安を説明し、地域の理解から納得と期待を生み出す「**関係者の合意形成**」を大事に実施した。



入場無料～申し込み不要～



南山城村地域公共交通会議設立記念シンポジウム

これからの南山城村での お出かけをみんなで考えよう

～1人1人が意識を持って交通モード変換～

日時:令和元年10月18日(金) 午後2時30分～午後4時

場所:南山城村文化会館(やまなみホール)

内容: 第1部 基調講演(14:30～15:00)

「地域でのお出かけの手段と利用法」(仮)

立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセンター

客員協力研究員(公共交通アドバイザー) 井上 学 氏

第2部 パネルディスカッション(15:00～16:00)

テーマ「それぞれの立場から地域の交通を考える」(仮)

進行 井上 学(立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセンター)

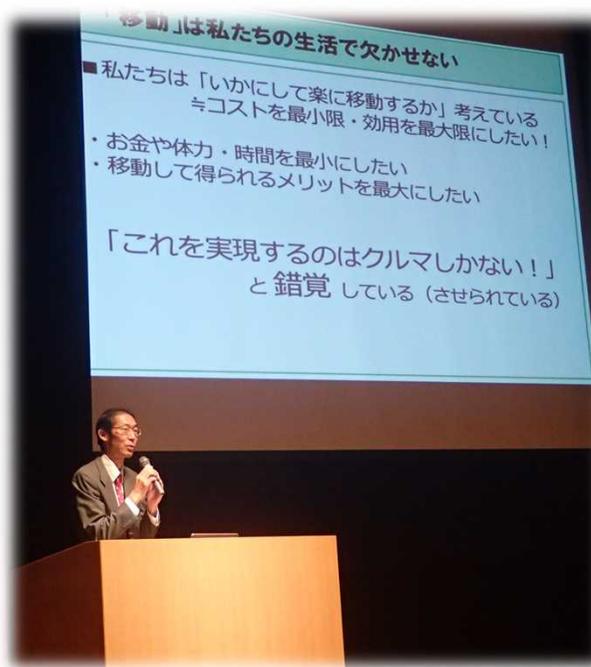
登壇者 京都運輸支局長/南山城村長/交通事業者等 (調整中)

参加自由! 皆様お誘いあわせのうえ、この機会に公共交通を考えましょう!!

主催 南山城村・相楽東部地域公共交通再編協議会 協力 近畿運輸局京都運輸支局
お問い合わせ 南山城村役場総務課 TEL 0743-93-0102(直通)

・地域公共交通会議の設立に合わせて京都運輸支局様にもご協力いただき、シンポジウムを開催

参加者の70代女性は「参加のきっかけにより意識が変わった。」と発言する。知らないという考えではなく、知ろうとする考え方の重要性



地域の支え

🚗 自家用有償運送 ドライバー講習会を開催します

総務課では、京都府交通政策課、南山城村社会福祉協議会と共に「相楽東部地域公共交通再編協議会」という協議会を構成し、バス交通中心の生活交通から「ドアツードア型の移動支援」による新しい交通体系へ移行する実証実験を昨年度から行ってきました。

このたび令和3年1月よりサービスの本格運行を目指しており、現状登録ドライバーは15名ほどご登録いただいております。

車両を使ったこのサービスの送迎には、認定講習の受講が必須要件となり受講費用もかかりますが、今年度に限り講習が無料で受講できますので、この際に講習を受講していただき、ご協力賜ればと思いますのでよろしくお願いいたします。

詳しくは下記記載内容をご確認いただき、不明点は担当までお問い合わせください。

有償運送認定講習日

日時：令和3年11月28日（土）午後1時30分～午後4時30分（予定）

場所：やまなみホール研修室

募集人数：約20人

募集〆切：令和2年11月12日（木）午後3時まで

応募方法：担当まで

内容・受講可能対象者（以下のすべてに該当している方）

①令和2年1月1日現在、75歳以下で心身共に健康な方

（年齢を超えておられる方も、可能な場合がございます。その際は、ご相談ください。）

②普通自動車運転免許をお持ちの方

③過去2年間に、重大事故、免許停止及び免許取消しが無い方

④自家用有償運送ドライバーとしてご協力いただける方

地域住民・関係者がドライバーとして支える

老老介護＝過疎地域の課題

「動ける・動こう」とする地域や人が支えれば地域の課題は解決できるのではないかな。

そのために地域全体で支える仕組みを行政が地域と一体となりつくらなければならないと考える



予約センターの役割

公共交通に関するお悩みやご相談は 南山城村モビリティセンター

令和4年11月よりJR大河原駅内を「南山城村モビリティセンター」と称して公共交通全般の相談、地域のふれあいサロンとして活用していきます。ぜひ、気軽にご利用ください。
※公共交通の不安やお悩みはお電話での相談も可能です。

場所は
JR大河原駅
です

やまなみ交通運営協議会では、村タクによる村内の移動手段を確保していますが

例えば、

- 「列車に乗りたいけど時刻がわからない・・・」
- 「広域バスの時刻が知りたい」
- 「大阪へ用事があって、公共交通機関を乗り継ぎたいけど・・・」
- 「大雨等により列車(JR)が動いているかわからない」

など、地域の皆様の公共交通に関する不安や困りごとへのお手伝いを「南山城村モビリティセンター」で行っています。(一部、ご対応できない場合もございます。)
お電話は村タクの予約センター番号と同じ「080-9593-4943」まで。

JR関西本線

村タク

相楽東部広域バス



公共交通総合案内機能として

- ・村タクだけでなく、鉄道や広域バスの利用促進、地域のお出かけ情報の案内
- ・電話及び現地での受付 = 高齢者にとっては顔と声がわかり安心
- ・今後はより利用しやすい必要な仕組みも構築していく必要がある。



南山城村 大阪の会社に感謝状
ふるさと納税100万円

南山城村は30日、企業版ふるさと納税制度で同村に1千万円を寄付した大阪市の洗剤・洗浄剤製造販売会社「UYEKI（ウエキ）」へ感謝状を贈呈した。寄付金は村内を走るデマンド型交通「村タク」の車2台の購入などに充てる。

特定のプロジエクトを支援する企業版ふるさと納税制度を同村は2020年度から導入し、ウエキが第1号となった。同制度の支援サービスをを行う「T.B」にウエキを紹介され、村の担当者が見学型交通を事業化するプロジェクトの説明に赴いたところ、寄付の快諾を得たという。

村役場で行われた贈呈式で、ウエキの渡部三博専務、吉田健取取締役らが出席。渡部専務は「高齢者が多い南山城村で、住民の足となる村タクは着眼点が素晴らしい。村の繁栄を祈っています」と寄付の理由を語った。平沼和彦村長は「寄付をしっかりと活用したい」と述べた。

村タクは昨年2月から実証実験を始め、今年1月18日から車3台で有償運行している。4月から4台に増やし、本格的に事業化する予定で、そのうち2台をウエキの寄付金で購入し、社名などをラッピングする。

(松本邦子)



南山城村企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

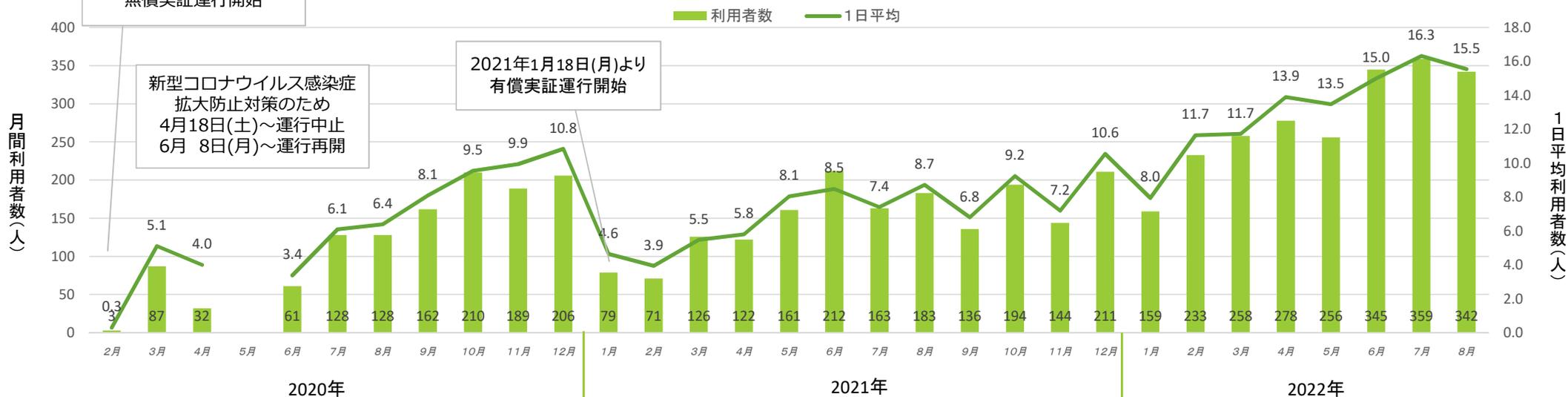
感謝状を手にしたUYEKIの渡部専務(中央)、吉田取締役(右)、車のラッピングイメージ図を持つ平沼村長(左)＝南山城村役場



「企業版ふるさと納税」の活用で車両を2台購入

ラッピング施工により視認性を重視

村タク 利用者数の推移



| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|------|------|-------|
| 令和元年度 (2019) | 利用者数 | | | | | | | | | | | 3 | 87 | 90 |
| | 1日平均 | | | | | | | | | | | 0.3 | 5.1 | 3.3 |
| 令和2年度 (2020) | 利用者数 | 32 | | 61 | 128 | 128 | 162 | 210 | 189 | 206 | 79 | 71 | 126 | 1,392 |
| | 1日平均 | 4.0 | | 3.4 | 6.1 | 6.4 | 8.1 | 9.5 | 9.9 | 10.8 | 4.6 | 3.9 | 5.5 | 6.8 |
| 令和3年度 (2021) | 利用者数 | 122 | 161 | 212 | 163 | 183 | 136 | 194 | 144 | 211 | 159 | 233 | 258 | 2,176 |
| | 1日平均 | 5.8 | 8.1 | 8.5 | 7.4 | 8.7 | 6.8 | 9.2 | 7.2 | 10.6 | 8.0 | 11.7 | 11.7 | 8.6 |
| 令和4年度 (2022) | 利用者数 | 278 | 256 | 345 | 359 | 342 | | | | | | | | 1,580 |
| | 1日平均 | 13.9 | 13.5 | 15.0 | 16.3 | 15.5 | | | | | | | | 14.9 |

費用の効果

- ・ 交通再編により、利用者の利便性の確保と共に行政による経費の削減が実施できた。
- ・ 財政支出が減る、移動の手段として存在を発揮する = 若者世代への経済負担が減少し、高齢者の生きがいづくりへも挑戦できる。

単位：千円

| | | 再編前 | | | 再編後 | |
|--------|--------------------------|--------|---------|--------|--------|-----------|
| | | H30 | H31(R元) | R2 | R3 | R4(予算ベース) |
| 村負担費用 | 村営バス・コミュニティバス | 28,370 | 29,542 | 17,124 | 11,420 | 451 |
| | 相楽東部広域バス | 4,027 | 2,790 | 2,809 | 3,354 | 1,422 |
| | 村タク・NT線 | | | 6,969 | 5,445 | 6,045 |
| | 職員人件費 (専従職員費・会計年度の概算) | | | | 3,200 | 6,400 |
| 収 益 | 村タク・NT線 | | | | 1,326 | 1,300 |
| 差引村負担額 | | 32,397 | 32,332 | 26,902 | 24,745 | 15,618 |

約1,500万円程度の財政的負担を抑制

今後の村内公共交通のイメージ

<地域特性に応じた公共交通網に対する考え方>

【既存の公共交通とそれぞれが担う役割を整理】

公共交通網の再構築

基幹交通 : JR関西本線



通勤、通学、
観光

幹線交通として、広く認知

広域交通 : 相楽東部広域バス



生活交通
JR補完

幹線交通の補完
相楽東部3町村の地域交通計画

域内交通 : やまなみ交通村タク



地域性
効率性

地域内交通であり、上記2幹線の
補助と支えを行い、交通需要への
対応を図る

まとめ



地域の期待は高まる＝地域に活力を与える

高齢者だけではなく、若い世代や観光客等も含め
多様な世代への浸透と積極的な取り組み・持続し
ていくための担い手の育成を継続して取り組む

赤字で廃止、乗らないから廃止では地域住民は限界
交通インフラへの行政が支出する内容は一緒

地域と行政が一体となって、住み続けるための村づくりを

ご清聴ありがとうございました。